

三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさ北IC)開通による整備効果

開通区間の概要

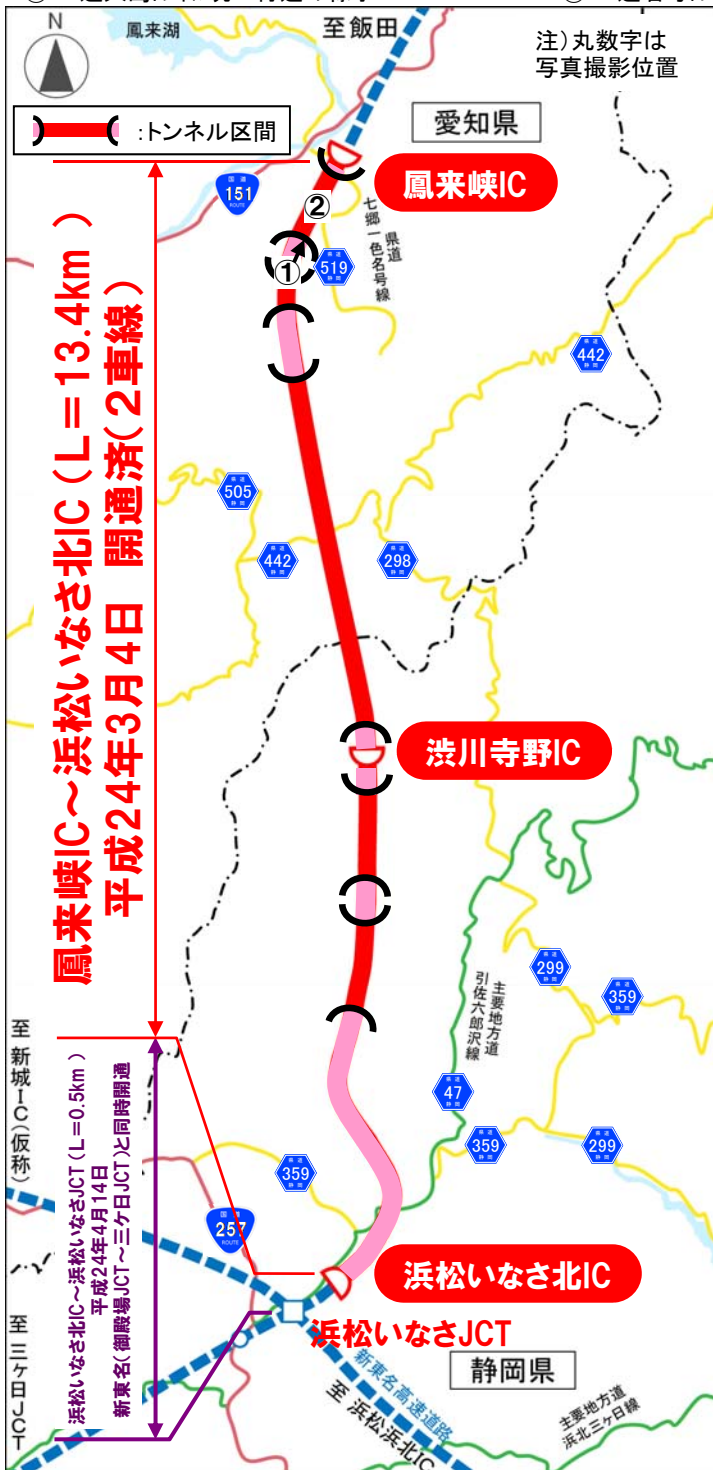
○静岡県浜松市と長野県飯田市を結ぶ三遠南信自動車道のうち、鳳来峡IC(愛知県新城市)～浜松いなさ北IC(静岡県浜松市北区)の延長13.4kmの区間が3月4日15時に開通しました。



① 三遠大島トンネル坑口付近の様子



② 三遠名号トンネル内の様子

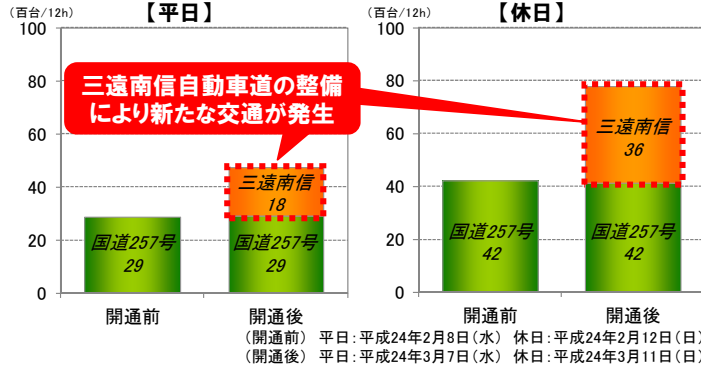


1. 今回の開通により新たな交流が生まれました！

【開通後の交通量】

- 今回開通区間の交通量は平日約18百台/12h、休日約36百台/12hとなっています。
- 並行する国道257号では、開通前後で交通量はほとんど変化しておらず、三遠南信自動車道の開通により新たな交通が発生し、交流が活性化していると考えられます。

■開通後の三遠南信自動車道及び国道257号の交通量



【所要時間】

- 今回開通により、浜松市から東栄町への所要時間が、約18分(開通前:98分→開通後80分)短縮。

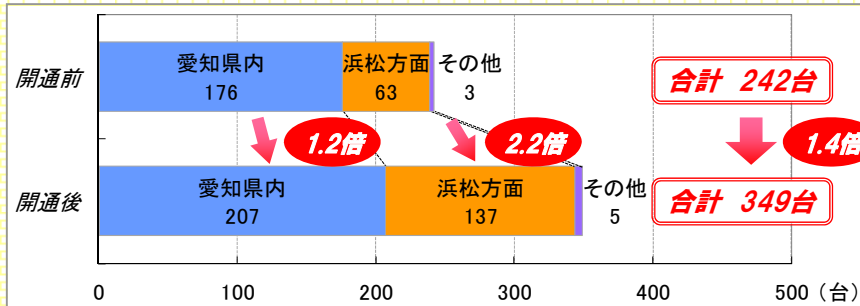
所要時間 (開通前) 平成23年11月29日(火)
(開通後) 平成24年3月8日(木) 実走行結果



2. 奥三河・南信地域で観光客が増大！

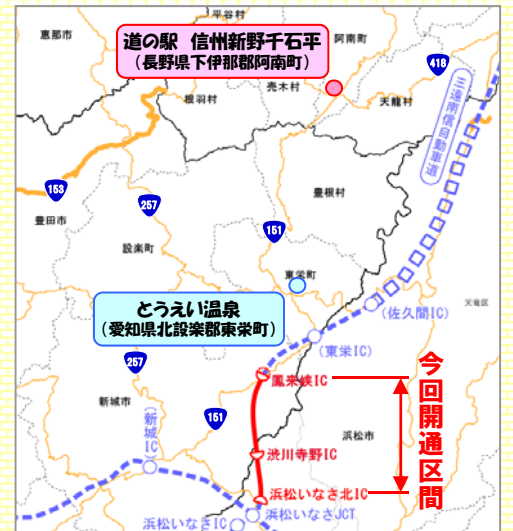
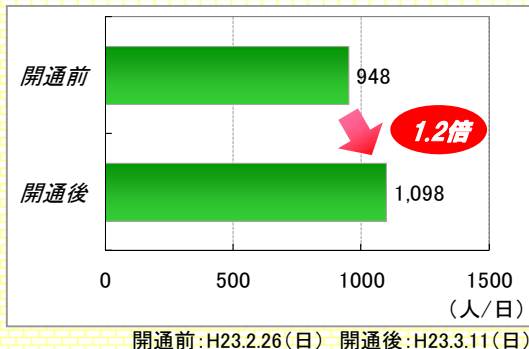
- 開通前後で浜松～奥三河・南信方面間の交通量が増加していることに呼応して、奥三河・南信方面での観光交流施設の入込客数は増加しています。
- 開通前後のとうえい温泉(奥三河)、道の駅信州新野千石平(南信)における入込客数は約1.2～1.4倍に増加しています。
- とうえい温泉駐車車両を開通前後で比較すると浜松方面からの車両が約2.2倍と他の方面に比べて大きく増加しています。
- 今回の開通は奥三河・南信地域における浜松方面からの集客力向上に貢献していることが伺えます。

■とうえい温泉入込客数の変化 (平日正午における駐車台数の変化)



開通前: H23 2/27(月)、2/28(火)、3/2(金)合計
開通後: H23 3/5(月)、3/6(火)、3/8(木)合計
車両の把握はナンバープレート調査により実施

■道の駅信州新野千石平入込客数の変化 (買い物客数: レジ利用者)



観光交流施設の運営者の声(道の駅信州新野千石平)

開通後、駐車車両の大半が浜松ナンバーとなり、浜松方面からのお客さんで賑わいが増しました。道の駅に併設して、観光きのこ園の運営等も行ってます。今回の開通により、浜松方面等への時間が短縮され、道の駅の更なる賑わいと広域圏に向けた南信地域の情報発信・事業拡大が期待できます。